

学力向上を図るための全体計画

武蔵野市立第五小学校

今年度の重点目標

- ①健やかな心と体をつくる
- ②豊かな心を育て互いに尊重し合い高め合う人間関係をつくる
- ③思考力・判断力・表現力を育てる

研究テーマ

育てよう 課題解決できる 五小っ子
～言語活動の充実を通して～

言語活動の充実に向けた方向性

- ①体験から感じ取ったことを表現できる
- ②事実を正確に理解し、伝えられる
- ③概念・法則・意図などを理解し、説明したり活用したりできる
- ④情報を自分なりに理解し、論述できる
- ⑤課題について、見通しをもって追究し解決できる
- ⑥互いの考えを伝え合い、自らの考えを高めたり、集団の考えを発展させたりできる

めざす児童像

指導の在り方

- 45分を有効に活用し、言語活動を取り入れて授業を展開する
- 一人一人が考えを深める場と時間を確保する。
- 誰もが自分の考えを発表できるよう、話型指導やスモールステップで話す力を高めていけるようにする。
- 互いの思いや考えをしっかり受けとめることと、互いの良さを相互評価により認め合えるようにする

五小における授業改善の具体例

①学習の見通しと学習の振り返りの工夫

- ・毎時間、授業のねらいを提示し明確にする。学習の手順を示す。
- ・学習の振り返り(めあてが達成できたか等)を行ったり、感想を交流し合ったりする。

②言語環境を整える工夫

- ・「聞く」ことの指導や基本的な話形や丁寧な言葉遣いの指導をする。
- ・日常的に読む(音読、暗唱)、話す、書く(日記、漢字練習)、辞書をひく活動を設定する。

③自分の考えをもたせる工夫

- ・既習学習から課題の答えを「予想」させたり、また「結果」から「考察」させたりする。
- ・目的や学習の視点を十分理解させてから活動に入る。
- ・自分で思考する十分な時間をとる。自らしらべてまとめる活動を多く設定する。
- ・自分の考えを自分の言葉(絵や図、言葉等)でまとめさせ、理由を付けて発表させる。

④言語活動の具体的な工夫

- ・言葉を自分の体験とつなげてイメージ豊かにとらえられるようにする。
- ・友達と意見を交流する活動を取り入れ、説明する力、質問をする力、評価する力(良さを認め合う相互評価)、助言する力を付ける。
- ・ペア、小グループ、大グループでの話し合いの場を設定し、自分の考えと比べさせたり、共通点・相違点を気付かせたりしながら考えを深めさせる。

2学期以降の生活での取組

- ・あいさつは、だれにでも、自分からしよう
- ・丁寧な言葉づかいをしよう
- ・忘れ物をなくそう
- ・自分の持ち物を点検しよう(筆箱、ランドセル、手提げ袋)
- ・時間を守って生活しよう
- ・校内は静かに右側を歩こう